

平成 28 年度 道徳教育啓発リーフレット



学校の教育活動全体で取り組むという観点から、校長の方針の下、学校の重点や方向性について共通理解し、道徳教育推進教師を中心とした組織的で一貫した推進体制により、道徳の時間を要とした道徳教育の充実を図り、豊かな人間性を育みましょう。

道徳教育の充実のために大切にしたい5つのポイント

学校組織としての取組の充実

- 校長の明確な道徳教育の方針の下、道徳教育推進教師を中心とした機能的な推進体制を構築し、学校組織として道徳教育を推進するとともに研修の充実を図ること

魅力ある道徳の時間の計画的な実施

- 児童生徒の心に響く魅力的な教材の開発・選択や「私たちの道徳」の活用を行うとともに、登場人物の判断や心情を自分との関わりで考える学習や問題解決的な学習、役割演技などの体験的な学習等、指導方法を工夫することにより、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深めることができるようにすること
- 家庭や地域の方に授業を公開するなどして学校の道徳教育の方向性を知らせるとともに、道徳教育や道徳の時間への協力を求め、共に児童生徒の道徳性を育てていくようにすること

活用しやすい全体計画、年間指導計画への改善

- 全体計画の改善に当たっては、道徳教育に関わる各教科等の指導や体験活動等の内容及び時期が分かるものを別葉として加えるなど、年間を通して具体的に活用できるものにする
- 年間指導計画の改善に当たっては、学校の道徳教育の重点を踏まえるとともに、展開の大要も含めるなど各時間の指導の概要が分かるものにする

「いわての復興教育」の教育的価値を踏まえた道徳教育の推進

- 「いわての復興教育」(いきる・かかわる・そなえる)の教育的価値を踏まえた道徳教育を推進し、特色ある道徳教育を進めることで、児童生徒の「道徳的な判断力」、「心情」、「実践意欲と態度」などの道徳性をより一層養うこと

一部改訂された学習指導要領への理解を深め、全面実施に向けた取組を進めること

- 一部改訂された学習指導要領への理解を深めるとともに、道徳の教科化を踏まえ、道徳教育全体計画及び別葉、年間指導計画の整備や、改訂の趣旨を踏まえた授業改善等を行うこと

【研究主題】

自らを高め、共に認め合う生徒の育成

～発問とそのつながりを工夫した授業展開を通して～

基本発問を吟味し、そのつながりを工夫した授業を展開しました。また、基本発問に対する生徒の反応に対して、考えをゆさぶったり、補ったりする補助発問を工夫することで、道徳的諸価値に気づき、考えを深める授業を構想しました。

【久慈市立長内中学校の実践より】

主題について考えさせる発問の工夫

授業学年：2年
主 題 名：役割と責任の自覚
資 料 名：『駐車場係として』（岩手県版資料）
内容項目：4－（4） 役割と責任の自覚



自分との関わりから主人公の心情を共感的に捉える発問と、終末において主題について追求する発問をすることにより、考えを深める授業を構想

1 「ぼく」はどんな気持ちで駐車場係を務めていたのだろう。

主な発問

2 キャプテンの試合を観るためにコートに向かった「ぼく」をどう思うか。

3 【中心発問】「ぼく」が駐車場係の仕事に戻ったのはどんな気持ちからだろうか。

主題について考える発問

4 役割を果たすことは、なぜ大切なのか。

資料のもつ主題そのものに関わって、それを掘り下げたり追求したりする発問。

本時の授業では、展開で自分との関わりから人物の心情や判断、行為の理由などを考えさせ、道徳的価値に対する理解を深めさせた。さらに、終末において主題について考えさせ、道徳的価値の自覚につなげることができるよう意図した。

【主題について考える発問（例）】

◇主題となる道徳的価値を問う

- ・□□（価値）をどう考えるか
- ・本当の□□（価値）とは何か

◇教材の意味や内容等を問う

- ・この話の言いたいことは何か
- ・この話にはどんな意味があるか

◇人物の考えや生き方を問う

- ・この人物の生き方をどう思うか
- ・この人物はどのような人なのか

主題について考える発問に対する生徒の反応

○ 役割を果たさないと、周りの人に迷惑がかかるから。

○ 役割を果たすことが、周りの人を支えることになるから。



発問と発問をつなぐ工夫

授業学年：2年
主 題 名：家族を大切に思う
資 料 名：『祖母と栗の木』（岩手県版資料）
内容項目：4－（6） 家族愛



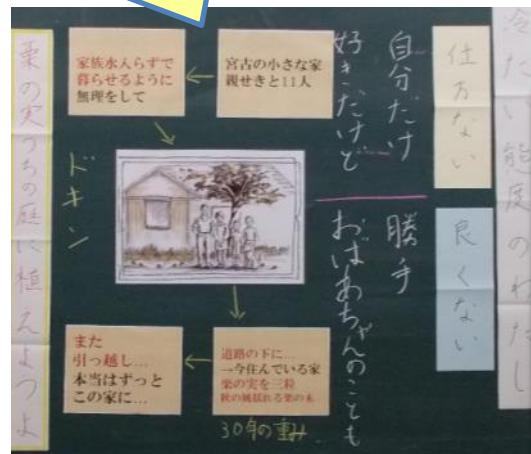
補助発問やさし絵の提示により、主人公の変容契機を捉えさせ、道徳的価値に対する自覚を深める授業を構想

1 （自分の部屋の一部をおばあちゃんにゆずることになり）涙をこぼした「わたし」はどんなことを考えていたのだろう。

主な発問

2 おばあちゃんに冷たい態度をとった「わたし」のことをどう思うか。

補助発問やさし絵の提示



3 【中心発問】「この栗の実、うちの庭に植えようよ。大きく育てて、またみんなで写真とろうよ。」という言葉には、どんな思いがこめられているのだろうか。

第2発問による話合いの後、さし絵を提示し、「おばあちゃんが昔住んでいた家には栗の木があったこと」「現在の家にうつるとき、栗の実を植えたこと」「30年たち、栗の木は大きくなったが、その家をまた離れようとしていること」を確かめた。その後、「主人公が栗の木を見て何を思っているか」を問い、その後の中心発問による話合いへとつなげていった。

中心発問に対する生徒の反応

○ 引っ越しはものだけでなく、思い出も引き継ごうという思い。

○ 栗の木を育てながら、家族の歴史をつくりたいという思い。



互いに認め合う場の設定

授業学年：1年
主 題 名：正義、公正公平
資 料 名：『正義ってなに？』
内容項目：4－（3） 正義、公正公平



ペアや4人グループでの意見交流を通して、互いの意見を認め合い、多面的・多角的な視点から、主題についての考えを深める授業づくりを構想

1 あなたはキャロルとルーシーのどちらを支持するか。

主な発問

2 二人の間に問題が起こったのはなぜか。

グループでの意見交流



「考えたい、話したい」と思わせる「問い」を投げかけ、4人グループでの話合いにつなげる。

互いの意見を認め合うことで、他者の考えを理解し、道徳的諸価値に対する理解を広めたり深めたりする。また、物事を多面的・多角的な視点から捉えさせる。

全体での発表場面でも一人一人の発言を大切に、発言をつないだり、広げたりし、考えを深める。

3 【中心発問】正義を求めるときに考えなければならないことは何か。

意思表示カード

主人公の行動について考える際などに使用する。全員に自分の考えをもたせ、意見交流を行い、考えが変わった場合は、カードの色を変える。カードをもとに意図的指名を行いながら、話合いを構築する。

学習形態もコの字とし、それぞれの考えを互いに分かり合えるようにする。



学校教育全体を通じた道德教育の推進

学校の教育活動全体で道德教育に取り組むという観点から、各教科、特別活動及び総合的な学習の時間と関連させた道德教育全体計画別葉を作成し、「私たちの道德」や「いわての復興教育副読本」との関わりも位置付けています。職員会議では、特別活動と道德教育との関連を示し、共通理解のもと、道德教育を推進しました。また、復興教育の教育的価値と道德教育の内容項目との関連表を作成し、授業づくりに役立てています。

道德教育全体計画別葉の作成

平成 28 年度 久慈市立長内中学校 道德教育全体計画別葉 第 1 学年 4 月

| | | | | | | |
|-------------------|--|--|---|---|---------------------------|----------------------------|
| 道 徳 | 副読本 資料名 | 13 朝市のおはようございます | 20 忘れ物 | 巻末 メールでねむれない 子どもたち | 「私たちの道德」 導入や終末等での活用 | |
| | 道德的 価値 | 2-(1) 礼儀、適切な言動 | 1-(1) 望ましい生活習慣、 心身の健康、節度節制 | 1-(1) 望ましい生活習慣、 心身の健康、節度節制 | | 「復興教育」 復興教育との関 わりを明記 |
| | 私たちの道德 | 48-51 子どもにふいに挨拶された筆者。 そのうれしさから、お互い一人の 人格として対等であること、敬意 を込めて挨拶することの大切さを感じ る。 人と人をつなぐ「挨拶」のもつ 意義を理解するとともに、分け隔 て無く挨拶を交わし、好ましい人 間関係を築こうとする態度を育て る。 | 10-13 忘れ物をしないための対策は三 者三様。いけないのは忘れ物を することではなく、忘れたとき の態度。忘れ物に対する安易な 気持ちだということ。 将来、社会人として生きていく ためにも、自分のことは自分で 管理できるよう、工夫し、望ま しい生活習慣を身につけるべき である。 | 226-229 導入、終末 食事中であっても就寝しようと しても、ひっきりなしに来るメ ール。5分ルールにこだわり、 生活が狂わされてしまう。 | | |
| | 資料の 要旨 | | | | | |
| 復興教育 との 関わり | | | | 現代の情報機器の便利さを共有 しつつも、自身の健康と安全を 考えて、節度ある生活を築いて いこうとする態度を育てる。 | | |
| | いきる かかわる そなえる | 3価値ある自分 6心の健康 9仲間や地域の人々とのつながり * | 3価値ある自分 5やり抜く強さ * | 5やり抜く強さ、6心の健康、7体の健康 9仲間や地域の人々とのつながり 21身を守り、生き抜くための技能 | 「各教科等」 関連する内容項 目を明記 | |
| 国語 | ・風の五線譜 2-(5) ・話し方はどうか ・詩の心 ― 発見の喜び ・小さな発見を詩にしよう | | | | | |
| 保健 体育 | 【保健分野】 1章-1 からだの発育・発達 3-(1) 1章-2 呼吸器・循環器の発育・発達 3-(1) 【体育分野】 ＜A 体づくり運動＞ A 体ほぐしの運動 2-(3)・4-(4) | | | | | |
| 特別 活動 | 【学校行事等】 始業式 1-(2) (5)・2-(1)、入学式 1-(2)・2-(1)、1・2年生宿泊研修 1-(1)・4-(2) (4)、避難訓練 3-(1)・4-(1) 【生徒会活動】 生徒会入会式 1-(2)・4-(7)、前期生徒総会1-(4)・4-(2) (4) (7)、応援歌練習 4-(4) (7)、生徒会朝会 1-(5)・2-(1)・4-(4) (7) 挨拶運動 1-(1)・2-(1)、朝清掃(執行部) 1-(1)・4-(5) 【学級活動】 学級目標・組織作り 1-(2)、生徒総会に向けて 4-(7)、生徒会入会式に向けて 4-(4) (7)、生活のリズムときまり 1-(1)・4-(1) 宿泊研修(集団行動)計画・実施 1-(2) (3)・2-(3) (5)・4-(1) (4) | | | | | |
| 総合的な 学習の時間 | | | | | | |

復興教育と道德教育の関わり 復興を担う生徒の育成

職員会議資料 共通理解のもと道德教育を推進

| 道德の 内容項目 | 復興教育の 教育的価値 | 1【いきる】 震災津波の経験を踏まえた 生命の大切さ、心のあり方、心身の健康 | | | | | | |
|-------------------|-------------------------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) |
| 1 主として 自分自身 | (1) 望ましい生活習慣、心身の健康、節度節制 | | | ○ | + | ★ | ○ | + |
| | (2) 希望、勇気、強い意志 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | (3) 自主自律、誠実と責任 | | | ★ | ○ | ★ | ○ | |
| | (4) 真実愛、真実の追求、理想の実現 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| | (5) 反省と向上、個性の伸長 | | | ★ | ○ | ○ | | |
| 2 主として 他の人 | (1) 礼儀、適切な言動 | ○ | | | | ○ | | |
| | (2) 人間愛、思いやり | ○ | | ★ | ○ | + | ★ | |
| | (3) 友情・信頼 | | | ★ | + | ○ | ○ | |
| | (4) 正しい真性理解と人格の尊重 | | | | | + | ○ | |
| | (5) 個性や立場の尊重、謙虚、広い心 | | | ★ | + | ○ | ★ | |
| | (6) 感謝 | | | ○ | + | + | ○ | |

3 6月の道德教育指導計画

(1) 6月の道德教育

大成功だった運動会、運動会を通して生徒はたくさんを感じ、考え、これまでの自分を振り返ったり、これからの自分の姿を思い描いたりしていることだと思います。生徒が学んだことや考えたことを価値付けてあげたいものです。道德の時間の導入や終末の中で想起させ、価値付けてあげることもできると思います。

運動会

- 1-(3) 自主自律、誠実と責任
- 4-(7) 愛校心、校風の樹立
- 2-(2) 人間愛、思いやり 2-(3) 友情・信頼

(2) 6月の行事と道德教育との関連

中総体

- 1-(2) 希望と勇気、強い意志
- 2-(2) 人間愛、思いやり 2-(1) 礼儀、適切な言動
- 2-(3) 友情、信頼
- 4-(7) 愛校心、校風の樹立

6月は中総体があります。運動会と同様に、体験と価値を関連付けてあげられるような実践をしていきたいものです。

(3) 中総体前後の取組

- ① 壮行式 4-(7) 愛校心、校風の樹立
- ② 中総体前の各部の放送 1-(2) 希望と勇気、強い意志
- 2-(2) 人間愛、思いやり
- ③ 掲示物 2-(6) 感謝
- ④ 引退後の活動場所の清掃など 4-(5) 勤労、社会への奉仕、公共の福祉
- 4-(7) 愛校心、校風の樹立